

# フィリピンでチクングニア熱が流行

2012年10月1日 ProMED 情報(Inquirer News)



チクングニア熱が、ビコール Bicol 地方アルバイ Albay 州ラプラプ Rapu-Rapu 市バタン Batan 島にある 1 つの村で流行し、83 名の患者が報告されました。またバタン島のバランガイ・サン・ラモン Barangay San Ramon で、この 3 週間で患者数が急に増えていることに対して調査が行われています。チクングニア熱の症状は、デング熱と似ていますが、症状は軽く出血症状はみられません。症状としては発熱、発疹、筋肉痛、全身の痛み(しばしば激しい関節痛を伴う)です。

バランガイ・サン・ラモン村では、9 月中旬までに 70 名の患者が報告されましたが、下旬には 83 名に増加しました。ラプラプ市は 3 つの島で構成されており、バタン Batan 島、Guinanayan 島、ラプラプ島に分かれます。中心街がラプラプ島にあり、バタン島へは船でしか行くことができず、町から船で 3 時間かかります。

〔ProMED 調整者〕

報告されたのは、検査で確定診断された患者数なのか、症状から疑われた患者数なのかは不明です。上記の報告には記載されていませんが、激しい関節痛は、感染初期の急性期のあと、数週間から数ヵ月続きます。フィリピンでは、1954 年、1956 年、1968 年、1985 年、1986 年に散発的な感染がありました。